

常入寺
おやこのつどい
い・サマーを開催

お盆明けの8月17日、常入寺おやこのつどい「い・サマー」を開催しました。住職マーサーを開催しました。住職の平生の行いのせいか、今年は雨模様、途中大雨になりました。と言いながら開催して十数年になりますが、雨が降ったのは初めてでした。雨の止み間をみて本堂前で流しそうめんや花火、室内でホットプレートを使いバーベキューもどきをして楽しみました。参加者が雨のせいもあり少なく7名ぐらいと、少し寂しかったです。来年は是非晴れてほしいものです。



8月17日

おやこのつどい
い・サマーを開催

ごぶよん



発行真宗大谷派 常入寺
富山市東老田78番地
電話(076)436-0816
FAX(076)436-2766
携帯090-3764-3983
発行責任:青井和成

*ほんこーほんつとまつまつ

第四回
夏休み高岡であそぼつ
無事終了しました。
開催日 10月31日(土)午後2時より11月1日(日)午後4時まで
講師 松井勇さん(南砺市)
毎年毎年、絶えることなく勤められたホンコハーン親鸞聖人の命日を縁として勤められてきたホンコハーンが勤めらてきた歴史の流れに乗りませんか?
※10月31日夜 おやこのつどいByほんこさん をつとめます

皆様に今年もご協力をありがとうございました、福島のこと
も達の保養事業である「第四回夏休み高岡であそぼつ」を去る8月2日より7
日まで開催し、無事に終え
ることができました。皆様
方がご理解ご協力いただき
たからできたことだと思つ
てます。本当にありがとうございました。



印象的でした。やつて良
かつたなど感じました。福
島の子ども達のためにと
やつてるのですが、結局自
分が元気をもらっています。
知れません。良い夏の思
い出です。本当に皆様のおか
げだと思つてます、ありが
とうございました。

9月28日
午後2時より
イ・命日の集い
皆さんで正信偈のお勤
めをしたあと、みんな
でお茶飲んでダラ話して
います。気楽にお越
しください。

南無阿弥陀仏



毎年お寺の掲示板や、寺報に載せていただいてます。広島市の『平和への誓い』を本年も掲示させていただけます。今年は見ることはできなかつたのですが、いつも平和記念式典にて総理大臣や市長さんなどのスピーチを聞いていてもピンとこなかつたり難しかつたりしますが、小学生達が時間をかけて作った『平和への誓い』は言葉は平易ですが理解し安く心に打たれます。またこの誓が改めて私たちに平和について教えてくれると感じています。この思いを皆さんと共有していくつも掲示させてもらっています。今年は国会においていわゆる安保法案についています。また、首相はよく「積極的平和主義」といふ言葉をよく使われています。そもそも平和つて何なんだろう、そもそも平和つて何なんだろう。そういうことをこの誓を読みながら強く考えさせられました。

平和への誓い

昨年の8月20日、土砂災害に巻き込まれ、大切な仲間の一人を失いました。

今まで、当たり前のように一緒に過ごしていた仲間が、突然いなくなるという悲しみを知りました。

昭和20年(1945年)8月6日 午前8時15分

照りつける太陽の下、一発の原子爆弾が、建物、自然、そして、たくさんの人々の大切な命を奪いました。

この日のことを経験していない私たちですが、大切な人を失う悲しみは、想像することができます。

あの日から70年

今の広島は、色とりどりの花が咲き、緑豊かで、みんな笑顔で過ごすことのできる素敵な街です。

この街で、今、私たちは、平和への思いを感じています。

平和を考えるきっかけは、身近なところにあります。

平和記念公園で見たたくさんの折り鶴

広島平和記念資料館を訪れて知った原子爆弾による被害の事実

悲しみ、苦しみとともに、平和への強い思いが込められた被爆体験者の話

そして、私たちこども代表による「平和への誓い」

祖父母たちが、この70年間ヒロシマを生き抜いて、私たちに命をつないでくれました。

私たちは、今まで受け継がれてきた命と平和への思いを受け止め、考え、自分たちにできることから、「小さな平和」をつくろうとしています。

もう一度、身近な友達、世代の違う人々、様々な国や地域に住む人々と、平和について共に考えてみませんか。

広島に育つ私たちは、

事實を

被爆者の思いや願いを

過去 現在 未来へと

私たちの平和への思いとともににつないでいく一人となることを誓います。

平成27年(2015年)8月6日

こども代表 広島市立白島小学校 6年 桑原 悠露

広島市立矢野南小学校 6年 細川 友花

平和とはなにかという正しい答えをみんなですぐに搜すということより、それが平和ということを考え、お互いを尊重し相手の意見を簡単に否定せず自由

に意見を交わすということをとおして平和についてじっくり考えていくことが大事だと思います。皆さんも自分が固定概念として抱え込んでしまっている「平

和」と言うことを一度リセントして、まっさらな中で平和ということを考える道と一緒に歩み歩み始めませんか?

